

# 東通村と都市部との交流事業

～東京都北区浮間中学校2年生職場体験学習～

「釣りが好きなので海に行ってみたい！」

「海鮮系の食べ物が好きなので食事が楽しみ！」

「身近にはない第一次産業を体験できる貴重な数日間なのでしっかり取り組みたい！」

平成26年度から始まった東京都北区立浮間中学校の職場体験学習が3年ぶりに再開され、今年度は男子2名、女子2名、合計4名の生徒が東通村に来村しました。10年間（途中3年間コロナウィルス感染予防のため、事業中止）の交流事業で、これまで48名の生徒が来村し、第一次産業の職場体験をしています。

北区立浮間中学校の奥村宏校長に聞いたところ、東通村での職場体験はとても人気があり、厳選なる審査のもと、たくさんの人数の中から選ばれた生徒たちが東通村を訪れているとのこと。

さて、今年度の職場体験学習は、7月5日から8日までの3泊4日の行程で、尻屋漁業協同組合、野牛漁業協同組合、東通村産業振興公社、村田農園の4ヶ所にて行われました。最初は緊張気味だった生徒たちも、村の人たちの優しさや第一次産業に対する思いを感じるにつれて、積極的に仕事に取り組んでいました。

一番心に残ったことを生徒たちに聞いてみると「全部心に残っているんだけど・・・」と言いつつも「ウニの瓶詰をつくったことが初めての体験で楽しかった。」「ホタテの佃煮を作るのが大変だとわかった。」「海に初めて入ったのが楽しかった。」「ウニやアワビを食べたことが最高だった。」と答えていました。第一次産業の仕事を通して、全員が村を思いっきり満喫できたようです。

また、東通村ジオパークツアーも実施し、北部海岸へ行ってきました。ジオパークのツアーガイドでもある東通☆東風塾（やませじゅく） 氣仙修副塾長の説明を真剣に聞きながら、東通村の歴史に思いを馳せていた姿が印象的でした。

最終日には、レストハウスで、東通村の伝統料理である“べこもち作り”を体験しました。最後に切り分けて模様を確認するときには、歓声上がるほど上手に作ることができました。

3泊4日という短い期間の滞在でしたが、漁業、農業、畜産業の様々な職業体験をしたり、東通村の「食」「土地」「人」などたくさんの「東通」を五感で感じて、最高の職場体験学習になったことでしょう。

4名の生徒たちが大人になって、また東通村に来てくれることを期待しています。

ご協力いただきました多くの方々に感謝いたします。ありがとうございました。

